

緊急技術情報（園芸・暴風雪）

平成23年12月22日
日高農業改良普及センター

～低気圧接近・通過に伴う注意喚起～

12月23～25日にかけて、北海道に強い低気圧が接近・通過し、暴風雪に注意が必要です。

大雪に対しては、以下の点に留意して下さい。

○ ハウス・育苗ハウス等の保安全管理

- 1 降雪量に十分注意し、ハウス天井部だけでなく腰部についても十分な除雪作業を実施してください。
- 2 ハウス天井部の倒壊防止対策として、3 m間隔に支柱を設置し、耐雪性を向上させましょう。
- 3 暖房機等の加温設備がある場合は二重カーテンを解放し、外気温より5℃以上になるように温度設定し、ハウス天井ビニールの融雪を促進させましょう。
- 4 加温装備がない場合は、オイル缶（適正処理済）や1斗缶に稲わら（2～3束）、乾草（満杯量）を入れ、100坪ハウスで5か所程度設置し燃焼させ、ハウス内の温度上昇を図り、ハウス天井フィルムの融雪を促進させましょう。
- 5 予想を超える降雪量や著しく強風雪が続く場合には、ハウス天井フィルムを除去し、ハウスの倒壊を防止して下さい。

強風に対しては、以下の点に留意して下さい。

○ ハウス・育苗ハウス等の保全管理

- 1 既設の防風網は点検整備を十分に行うと共に、突風が発生しやすいハウス周辺の狭さく部には、応急的に防風網を設置しましょう。
- 2 ハウスバンドを固定するアンカー杭の浮き上がりを確かめ、修正しておきましょう。
- 3 ハウス天井フィルムの張りを維持するために、ハウスバンドを締め直しましょう。バンドレスの場合は、フィルムを均等に緊張することが難しく、フィルムがバタつくと破れやすくなるので、妻面及びハウス中間部に防風ネットを張り、バタつきを防ぎましょう。
- 4 ハウスの出入り口、天窓、妻窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きちんと締まるかチェックしましょう。
- 5 ハウス妻面からの筋かいが緩んでいるときは、止め金具のアングルバンド全てを均等に増し締めし、筋かいの強度を向上させましょう。
- 6 風が極めて強くなる場合は、ハウス天井フィルムを除去するなどして風を逃がし、ハウスの倒壊を防ぐことも必要です。

※ 悪天候下での作業には、十分な安全を確保して下さい。

**天気予報等で今後の気象経過に十分な注意をして下さい！
くれぐれも作業の安全性を一番に考えて下さい！
無理をせず、作業事故防止を心がけましょう！**